

人が輝くいばらきづくり専門部会(第4回・9月30日開催)における主な意見の要旨と事務局対応方針案

資料2-2

| 該当箇所 | | | 意見要旨 | 対応方針案 | |
|----------------------|--------------------------------|-------------|---|---------------------------------------|--|
| 政策 | 施策 | 区分 | | | |
| 全体 | — | 数値目標の考え方 | 全国との数値の比較が必要 | 全国との比較が可能な指標については、全国の平均値や順位を示すこととします。 | |
| (1) いばらきを担うたくましい人づくり | — | 現状と課題 | 基礎学力の定着や社会性を養うための教育が必要となっていることに関する現状を、人口減少とつなげることには無理がある。 | 意見を踏まえた修正案を作成します。 | |
| | ①いばらきを担うたくましい人づくり | 主な取組 | 幼児教育を追加し、順序も3番目に置くべき | | [第4回部会資料における取組6を以下のとおり修正し、3番目に位置付け] 幼児期の教育の重要性の認識を社会全体に広めるとともに、幼児が小学校にスムーズに適応していくことができるよう、幼稚園・保育所と小学校の連携・接続の強化を図ります。(以下修正なし) |
| | | 数値目標 | 四則計算の正答率が理数教育の結果の判定としてふさわしいか疑問 | | 当施策において最も重視する点は基礎学力の定着であると考えており、すべての教科の基礎・基本となる読み・書き・四則計算の定着状況は必要な指標と考えます。 |
| | | 数値目標 | 「個性」に関する指標がない。夏休みの自由研究の提出率や、ジャンル別の読書数などを指標としてはどうか | | 個性を伸ばすためには、児童生徒や地域の実態に即した特色ある学校・学級づくりにより、子どもたちの興味や関心を高めることが必要であり、そのあり方は各学校・学級で柔軟に対応するものであることから、成果を一律に指標化することは困難と考えます。 さらに、個性を数値で示すことが適切であるかについても疑問があることから、数値目標化はしないこととしたいと考えます。 |
| | | 各主体に期待される役割 | 県民の役割として、家庭での体験を加えてはどうか | | [県民の役割に以下のとおり追加] 子どもの興味・関心に応じた体験活動 |
| | ②豊かな心と健やかな体をはぐくみ自立した人を育てる教育の推進 | 数値目標 | 本を読んだ冊数が読解力の指標になるか疑問 | | 読書は読解力の向上に一定の効果があると考えており、現行計画でも本を読んだ冊数を指標として設定し、関連事業に取り組んでいます。県が毎年度行う施策評価においても「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」などの成果等を示しており、本の内容やジャンルについての助言の必要性などを課題として示しているところです。 なお、1施策あたりの指標はある程度絞り込みたいと考えており、指標の追加はしないこととしたいと考えます。 |
| | | 数値目標 | 学校司書を置いている学校数を指標としてはどうか | | |
| | | 数値目標 | 読み聞かせを行っている学校数を指標としてはどうか | | |
| | ②豊かな心と健やかな体をはぐくみ自立した人を育てる教育の推進 | 主な取組 | 命の大切さ、公共マナーを強い文章で書くべき | | [取組1を以下のとおり修正] 命の大切さや他人を思いやる心をしっかりと身に付けさせるとともに、規範意識や公共マナーを重視した教育を推進します。 |
| | | 主な取組 | 自然体験が取り組みから消えてしまった。第1回部会での現状と課題の整理も踏まえた記述が欲しい | | ご指摘のとおり自然体験は人間性の形成に重要な役割を果たすものと認識しており、主な取組5や、政策(3)施策③主な取組3等で自然体験に関する記述をしております。 |

| 該当箇所 | | | 意見要旨 | 対応方針案 |
|----------------------|-------------------------------|-------------|---|--|
| 政策 | 施策 | 区分 | | |
| (1) いばらきを担うたくましい人づくり | ②豊かな心と健やかな体をはぐみ自立した人を育てる教育の推進 | 主な取組 | 自分の将来設計ができる子どもの育成が必要 | [取組2を以下のとおり修正] 社会のルールやマナーを遵守した上で、他者と豊かなコミュニケーションを図ることができる力を育成します。また、自分の将来を自ら設計するとともに、自己選択、自己責任で行動できる力の育成に努めます。 |
| | | 数値目標 | 学習関係だけでなく、命の大切さやマナーに関する指標が必要 | マナーに関する指標の追加も検討しましたが、当施策の指標の項目が多いことから、逆に指標の絞込みの必要があると考え、マナーに関してはマナーアップキャンペーンに関するもののみとしたいと考えます。 |
| | ③県民に信頼される魅力ある学校づくり | 主な取組 | 親の道德教育が必要 | [政策(2) 施策①の主な取組2に以下のとおり追加] 親や大人が自らを振り返り、青少年の良い手本となるよう姿勢を正すとともに、青少年の健全育成に積極的に関わるよう、県民運動を推進します。 |
| | | 数値目標 | 学校と外部との連携を示す指標はないか | 学校関係者評価の項目は学校によって異なるため、その中から地域との関係を示すものを一律の指標とすることには難しい部分があるので、総合計画の指標としては素案で示したものを採用したいと考えます。 また、学校関係者評価の実施には、地域や保護者との連携が重要であることから、その実施率及び結果の公表率を指標とすることが適当であると考えます。 |
| | | 数値目標 | 学校のホームページの更新率などを指標としてはどうか | |
| | | 数値目標 | 学校評価の項目の中で、地域や家庭と関連のあるものを指標としてはどうか | |
| | | 各主体に期待される役割 | 保護者への強い訴えかけが必要。PTA活動参加だけでは足りない。 | [各主体に期待される役割の「県民」の欄に以下のとおり追加] 親が青少年の良い手本となる県民運動等への参加 |
| | ⑥国際社会で活躍する人材の育成 | 主な取組 | 外国語能力以前に、外国人の前で言いたいことを言えない状況がある。特に男子生徒は留学希望が少ないなど、外国人と接する機会の増加も望まない状況を改善することが必要 | 取組5で、外国人留学生との交流の機会の増加を記述するなど、計画の記述上はご意見には対応しているものと考えておりますが、実際の教育現場でも計画の主旨を踏まえ、積極的に活動できる人材の育成に努めてまいります。 |
| | | 主な取組 | ディベート能力を向上させる授業が少ない。一斉授業が多い。県全体で学び合いを教科指導に入れるべき | 取組1で「自分の考えを主張できるような態度の育成」について記述しており、その具体的手法については部門別計画に委ねることとします。 |
| | ⑦科学技術創造立県を担う高度な人材の育成 | 数値目標 | 学生数が減る中、理系大学や医学部の進学者数を目標とするのは不利であり、進学率で検討すべき | ご指摘を踏まえ、理系大学は進学率を目標値にします。 なお、「住みよいいばらき」における医師確保については医師数を目標値としていることから、医学部進学者についてもその人数を目標にしたいと考えます。 |
| | | 数値目標 | スーパーサイエンスハイスクールの取り組みと科学オリンピックエントリー数は相関する。良い指標である | 関係団体等と連携を図りながら、今後も科学教育の推進に力を入れてまいります。 |

| 該当箇所 | | | 意見要旨 | 対応方針案 |
|----------------------|----------------------|---------------------|-----------------------------|---|
| 政策 | 施策 | 区分 | | |
| (2) 豊かな人間性をはぐくむ地域づくり | ①家庭・地域社会の教育力の向上 | 主な取組 | 子育てに無関心な親が増えており、親の道德教育が必要 | [政策(2)施策①の主な取組2に以下のとおり追加] 親や大人が自らを振り返り、青少年の良い手本となるよう姿勢を正すとともに、青少年の健全育成に積極的に関わるよう、県民運動を推進します。 |
| | | 主な取組 | 家庭の教育力の向上に本気で取り組むべき | |
| | ③歴史・芸術・文化の薫り高い地域づくり | 主な取組 | 子どもに美術館で芸術を体感させることが重要 | 個別具体の手法は記載せず、主な取組3の記述で対応させていただきますが、教育の現場において、積極的に美術館を活用させていただきたいと考えます。 |
| | | 主な取組 | 主な取組が具体的過ぎる。抽象度合いをそろえた方が良い | 当施策に限らず、全体のバランスをとるよう検討します。 [主な取組を整理した施策] (1)⑤, (2)③, (3)③, (3)⑥ |
| | | その他 | 文化活動を行う団体への助成の額の確保と、早期決定が必要 | 芸術文化の重要性については主な取組の記載のとおり認識しておりますが、その振興に関する具体策については担当部局において適切に判断させていただきます。 |
| | (3) 互いに認め合い支え合う社会づくり | ③青少年・若者の自立と社会参加への支援 | 施策／主な取組 | 青少年と若者では0歳から30歳くらいまでと、年齢層が広すぎる。青年の施策を追加すべき |
| ④高齢者がいきいきと暮らせる社会づくり | | 主な取組 | 生涯学習の原点を大きく打ち出すべき | 生涯学習については、主に政策(2)施策②で記述しております。 |
| ⑥多文化共生を実現する相互理解の促進 | | 主な取組 | 取組数が少ない | [主な取組4として以下のとおり追加] 外国人研究者やその家族の宿泊施設の整備、外国人子弟の教育環境の充実、地域住民との相互理解を深めるための各種イベントの開催など、世界から多様な人材が集まる魅力ある多文化共生社会の形成に向けた取組を支援します。 |